

6月に入り白い花が姿を消し、緑一色の森に変わってきました。 ノジトラノオが開花する頃まで、梅雨の訪れと共に静けさを感じる森となりそうです。2日は、子供連れ・若いカップル・熟年夫婦と幅広い層のご家族が来園され、園内ガイドの日でもあり、ゆっくりと散策されたり、昆虫を追いかけたり、静かな森を楽しんで頂いた様子の日でした。



ムラサキシキブ(紫式部)
花は淡紫色の小花が散房花序をつくり葉腋から対になって出る



ノジトラノオ(野路虎の尾)
虎の尾を連想する蕾がかなり伸びてきました



ナワシロイチゴ(苗代苺)
苗代の頃に赤い実が熟すため、この名がある。



ヤブタビラコ(藪田平子)



ハルジオン(春紫苑)、ヒメジョオンなのかな?
花卉が糸状、(姫女苑は多少幅あり)、根元にも葉あり、太い茎の断面は中空(姫女苑は、白い綿状の中実)



クララ(眩草)、今が見頃
和名の由来は、根を噛むとクラクラするほど苦いことから、眩草(くららぐさ)と呼ばれ、これが転じてクララ



クワの実(桑)
果実は初夏に熟す。キイチゴのような、柔らかい粒。
熟すと赤黒くなり、甘くて美味しい



エサキモンキツノカメムシ
ミズキの葉裏に卵を抱いた、ハートの紋のカメムシ
一般的な産卵数約80個程ありそうです



イチモンジチョウ(一文字蝶)
ズミの湿地帯で



シモフリスズメ
止まっている姿を後ろから見るとかなり不気味であるが、
顔には黒く丸い目と口吻、触角がバランスよく配置されており
精悍な顔つきとなっている



オオヒラタシデムシ
名前の由来は、死体があると出てくるため、
「死出虫」と名づけられたことによる。
ミズキの下



ライトトラップの様子
夜の森は、沢山の虫が光を求めて、あるいは樹木の樹液
を求めてやってきます